

# 「ゼロ・エネ」住宅開発

## 一戸建てに高断熱・高気密

### いわいハウジング

住宅メーカー、いわいハウジング(本社一宮市八町通、岩田邦裕社長、電話05866・71・3800)は、高断熱・高気密でエネルギー収支ゼロの省エネ性能を持つ一戸建て住宅「ヴィ・シャンテ」を開発した。断熱材と換気システムの採用などにより、冬は暖かく夏は涼しい室内空間を保つほか、再生可能エネルギーの活用などで年間1次エネルギー消費量がほぼゼロにできるのが特徴。第1弾となる住宅を一宮市今伊勢町で建設しており、国土交通省の「2014年度ゼロ・エネルギー化推進事業」に採択された。



建設中の「ヴィ・シャンテ」第1号住宅(一宮市今伊勢町)

同社は、1931年に木材商として創業、49年設立。一宮市と近郊で一戸建て住宅の設計・施工を手がけて

いる。15年5月期の売上高は1億2千万円(見込み)。ここ数年、公共事業から一戸建て住宅に経営をシフトする中で、



岩田邦裕社長

高断熱で気密性の高い住宅に特化。これまで高性能住宅「エバークリーン」シリーズと地元産木材を使用する「住まいるストーリー」シリーズを展開してきた。今回開発したヴィ・シャンテは、これまでの住宅シリーズの中で最上位仕様に位置付けている。断熱材で気密性を確保し、床下に換気システムを設置。このほかにも土間で冬場に太陽熱をためこむ仕組みや、太陽光発電システム、消費電力を抑制できる給湯設備などの省エネ設備を導入する。

ルより高い東北の基準レベル、熱損失係数(Q値)1・9以下を実現した。1坪(3・3平方メートル)当たりの建築費は65万円から。第1弾は一宮市今伊勢町馬寄西切戸に木造在来工法2階建て(延べ床面積160平方メートル)を建設。無塗装の無垢(むく)材に、米ぬかなど自然素材のワックスで仕上げた床材を使用するなど、木が湿気を調整する仕組みも取り入れた。岩田社長は「地球環境に配慮した健康住宅を今後も尾張地域で展開したい」と話している。

### 尾張の繊維チャ

いよいよ信用金庫次世代クラブ

【一宮】いよいよ信用金庫の取引先若手経営者らで組織する「いよいよ信用金庫次世代クラブ」は3日、一宮市若竹の同金庫本店で経営研究会を開催した。会員と一般市民ら240人が聴講に訪れ、評論家の金美齢氏が講演した。同クラブは、若手経営者や次世代経営者の研さんと交流を狙いに2004年に設立。会員数は現在63人。講演会や見学会、情報交換

6月10日号

### 「夫婦仲良く暮らす家」実現



ロービー

○：「当社の住宅は、冬に伊吹おろしが吹いてもすき間風が入らず暖かい。高気密・高断熱に自信を持っている」と話すのは、いわいハウジング社長の岩田邦裕さん。同社ではこのほど、断熱性を高め、省エネ性能を持つ一戸建て住宅「ヴィ・シャンテ」を開発した。そのコンセプトは「夫婦が仲良く暮らす家」という。岩田さんは「夫婦が自立してお互いの居場所を確保しつつ、2人で過ごす場所や仲間と楽しめる空間を同時につくること」と真意を明かす。

○：一宮市内に建設している第1号住宅は、リビングとダイニング、和室、土間が開放して一つの空間として使用できるよう設計。また、室内に洗濯物が干せるサンルームも確保した。「換気システムを導入し、屋外に設置するフィルターで花粉やPM2.5(微小粒子状物質)も室内に入れない仕組み。家の中で幸せを感じ、健康になってもらいたい」と話す。

(一宮)